

OS BENEFÍCIOS DO TRATAMENTO DE ACUPUNTURA  
PARA DOENÇAS PULMONARES.

鍼灸の魔術師

(10)

ペンギン・文・育

さん

肺炎 (高齢者の健康の大敵)



ペンギン鍼灸師

ブラジルはいよいよ冬に入るが、寒さに備えてペンギン先生はカゼをひかないように注意している。80歳以上の肺炎による死亡率は極めて高いからである。原因としては、肺機

能の衰え、免疫低下、細菌病、微生物による長期的むしばみ、ホコリ、冷たい空気等の刺激、肺感染症、肺組織の繊維化、弾力性の減少等が挙げられる。また抗生物質を長年使用している場合は、細菌の抵抗をう

ながし薬の効き目が見られないこともある。高齢者の肺炎の特徴は、はげしい症状がなく、誤診も多いので治療期間が長引いたりする。

ペンギン先生の臨床経験によれば、大半の肺炎患者の体温は正常かやや高め程度で肺の聴診も正常、血液中の白血球の数もさほど増えず、痛み、咳、痰なども多くない。しかし患者によっては食欲の減退、嘔吐、腹痛など消化系のトラブル、頭痛、精神的不安、喘息、心悸不整など心臓、肺臓の機能不全症状が見られることもある。

以下のような症状をあらわした場合は即刻病院に行つて検査治療を受ける必要がある。

1、原因不明の精神的不健康、眠気がひどく食事をとらず床から起き出せない。  
2、カゼが長引き呼吸がはやく、顔は赤みを帯び、唇は紫色。

3、慢性気管支炎の患者で咳、タンが増えタンの色が黄色っぽく、しかも血がまじっている。

4、目のふちがくぼみ手足が冷え血圧が下がる等。また成人病、例えば高血圧症、冠心病、糖尿病、腎臓の機能の衰え、肝硬化、脳卒中などがある場合も的確な判断を難しくする。肺炎患者は肺部の有効な呼吸面積が少なく、血液中の酸素含有量が減り、その他の重要な臓腑器官の機能も弱めるなど死因となる場合が多い。

ペンギン先生は肺炎の予防対策として、次を提唱している。

1、体力に応じた適度な運動。抵抗力を高め寒さに強い体をつくりカゼにかりにくくする。  
2、正しい食事内容。肺に良いのは中国梨、百合、木耳、大根、ゴマなど。  
3、家の中の衛生に気を付ける。室内の空気は新鮮

にし、定期的に米酢に少量の水を加えて煮立て室内の空気を消毒する。  
4、規則正しい生活。酒、タバコはひかえる。特に女性は揚げ物などをするとときに油煙を吸い込まないよう注意する。

5、サンパウロの空気はかなり汚染がひどくマスクを使用するのもよい。口で息をしないこと。複式呼吸法は内臓を強化するのに役立つ。  
東洋医学による治療法：針灸、肺、脾、腎の機能を調整し、先天的、後天的不足を補う。

漢方薬草は肺を清め消炎効果がある。肺は五臓の中で最もデリケート、長い時間をかけて治療する必要があるが良い結果が得られことは確実で、長生きが可能。  
肺、呼吸系疾患に関する電話は3326・397、3228・6030。(おわり)